

地域医療に関するシンポジウムについて

1. 概要

地域医療に関するシンポジウム ～これからどうなる？病院の再編・統合～

【日時】 令和5年4月16日（日） 14:00～15:30

【会場】 下関市民会館 中ホール

【内容】

- | | | | |
|------------------------------------|-----------|-----|---------|
| ・基調講演：「地域の医療課題を解決するための取組 ～広島県を例に～」 | | | |
| 広島県健康福祉局 局長 木下 栄作 氏 | | | |
| (元厚生労働省医政局総務課保健医療技術調整官) | | | |
| ・パネルディスカッション：「第2次中間報告」と下関の医療のこれから」 | | | |
| パネリスト | 下関市医師会 | 会長 | 飴山 晶 氏 |
| | 関門医療センター | 病院長 | 吉野 茂文 氏 |
| | 下関医療センター | 院長 | 山下 智省 氏 |
| | 済生会下関総合病院 | 院長 | 森 健治 氏 |
| | 下関市立市民病院 | 院長 | 田中 雅夫 氏 |
| | 広島県健康福祉局 | 局長 | 木下 栄作 氏 |
| コーディネーター | 下関市保健部 | 部長 | 石丸 文至 氏 |

2. 傍聴について

| | | | |
|------|------|-------|-----|
| 113名 | 【内訳】 | 医療関係者 | 55名 |
| | | 行政関係者 | 8名 |
| | | 議会関係者 | 7名 |
| | | その他 | 43名 |

3. 会場でのご質問・ご意見（主なもの）

- ・過疎地域における医療の確保は、医療機関任せではなく、行政側が国・県に求めるべき。
- ・スピード感をもって再編をやっていきたいという話であったが、どのくらいでできるのか。
- ・病院を建てる場合の市民の負担はどうなるのか。
- ・救急車を呼んだが時間がかかった。3病院には救急医療体制を確保して欲しい。
- ・次の感染症があった場合、今後、3病院ではどのように対応するのか。
- ・病院へ行く際のバス料金を値下げして欲しい。
- ・豊北地域の公共交通や救急医療、豊田中央病院の役割の拡大について、市が率先して考えて欲しい。
- ・尾道方式のすい臓がん検査を、下関市の各医療機関でもやっていただきたい。
- ・地域にある診療所の総合的な役割について、市民の声を聞く場を持ってほしい。